

東京都立小石川中等教育学校

【美術】

年間授業計画

教科: (美術) 科目: (美術) 対象: (第1学年A組～D組)

使用教科書: 「美術1」光村図書出版

使用教材: 新表現と鑑賞 開隆堂出版

	指導内容 【年間授業計画】	科目の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
4月	(1) オリエンテーション 美術の授業の目的 授業の受け方 (2) 鑑賞1 教科書を利用した鑑賞	(1) オリエンテーション 「美術」の授業の目的 1. 「自分(他)を知る」 2. 「五感を鍛える」を理解し、授業を受ける心構えや姿勢を作る。 (2) 鑑賞 絵の見方や考え方を知る。また、それを自分の言葉で表現できる。	(1) 関心・意欲・態度 取り組み ノートの記述 (2) 関心・意欲・態度 鑑賞の能力 取り組み ワークシート	4.5
5月	(3) 表現1 デザイン 身の周りの美術について考える ①レタリング ②デザインの意を読み取る。 ③絵文字を作る ④鑑賞会	(3) 身の回りの「美術」について考える ①一番、身近にある「文字」を通して、身の回りには「美術」が溢れていることに気づく。 ②「文字」のデザインを通して、デザインする人の意図やそれを受け取る側の気持ちを理解し、デザインのあり方について考えを深める。 ③「文字」と「絵」との間にユーモアのあるアイデアを発想し、半立体作品として完成させる。 ④友達の良い発想や表現方法を探し出し、言葉で表現できる。	(3) 関心・意欲・態度 発想・構想の能力 創造的技能 鑑賞の能力 取り組み ワークシート 作品	4.5
6月	(4) 鑑賞2 日本文化理解 (5) 表現2 絵画 色彩の理解 ①色の3要素 3原色 ②色の感情 ③色の地図 実際に絵具を使用することで、①、②についての理解を深める。	(4) 水引体験 夏休みに国立近代美術館付属工芸館を訪問することを見据えて、また、自分の生まれたり、育ったりしている国の文化を理解する。 (5) 色彩の理解 色彩の仕組みについて理解し、身の回りの「美術」に色彩が大きく影響していることを知り、これからの生活に活かしていく。 ①人間の目の働きと色の仕組みについて理解する。 ②身の回りに存在するものの多くが「色彩」を利用するなど大きな影響があることを理解する。 ③理論的に学んだ「色彩の仕組み」について、実際に絵具を使用し、確かめることで、実感し、理解を深める。	(4) 関心・意欲・態度 発想・構想の能力 創造的技能 鑑賞の能力 取り組み ワークシート 作品 (5) ①②③関心・意欲・態度 取り組み ワークシート	7.5
7月	③色の地図 実際に絵具を使用することで、①、②についての理解を深める。	③理論的に学んだ「色彩の仕組み」について、実際に絵具を使用し、確かめることで、実感し、理解を深める。	①発想・構想の能力 ②創造的技能 作品	4.5

東京都立小石川中等教育学校

【美術】

年間授業計画

教科:(美術)科目:(美術) 対象:(第1学年A組～D組)

使用教科書:「美術1」光村図書出版

使用教材:新表現と鑑賞 開隆堂出版

	指導内容 【年間授業計画】	科目の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
8・9月	(5) 鑑賞3 美術館鑑賞新聞 各自、美術館を 訪れ、新聞形式で まとめる。 (6) 表現3 工芸 玉ねぎ染めハン カチの制作	(5) 美術館新聞 東京国立近代美術館付属工芸館を訪れるこ とにより、工芸についての知識理解を深め 「美術」と「工芸」の違いについて理解す る。 (6) 玉ねぎ染めハンカチの制作 実際に工芸品を制作することにより、「工 芸」に対する理解を深めるとともに、身の 回りの工芸品に興味をもつ。	(5) 関 心・意欲・ 態度 鑑賞の能力 ワークシ ート作品 (6) 関 心・意欲・ 態度 発想・構想 の能力 創造的な技 能 取り組み 作品	4.5
10月	(7) 表現4 デザイ ン 自分製品の開発 自分の「特性」 世の中の商品を 組み合わせ、誰か の役に立つ商品を 開発する。 ①アイデアスケッ チ ②商品イラスト ③マークのデザイ ン	(7) 自分製品の開発 「自分」について考え、自分のもつ「特 性」の価値について考え、自分と他との関 わりについて考えを深める。 ①アイデアを数多く発想する。 ②多くの発想を構成し、一つの作品としてま とめていく能力を養う。 ③マークの役割を理解し、意図にあったデザ インを発想しまとめることができる。	(7) ①関 心・意欲・ 態度 ①②③発 想・構想の 能力 創造的な技 能 取り組み ワークシ ート 作品 定期考査	6
11月	④鑑賞4 パッケージの機 能やデザインにつ いて考える。 ⑤パッケージ制作	④用途に合わせた機能や購買対象に合わせた デザインなどを理解し、身の回りにあるも ののデザイン性について理解を深める。 ⑤イメージした形を実現させるために展開 図を考え、接着方法を選択し、制作する ことができる。	④発想・構 想の能力 ワークシ ート ⑤創造的な 技能 作品	7.5
12月	⑥鑑賞5 商品をPRしよう	⑥身の回りにあるポスターやCMなどの役割や制作 意図、宣伝効果などへの理解を深める。 また、その学習を活かして自分の開発した商品 を発表形式でPRする。その際、自分や商品に あった表現方法を選択し、より受け手への興味 や理解を深める能力を養う。	⑥関心・意 欲・態度 鑑賞の能力 ワークシ ート 発表内容	4.5

東京都立小石川中等教育学校

【美術】

年間授業計画

教科:(美術)科目:(美術) 対象:(第1学年A組～D組)

使用教科書:「美術1」光村図書出版

使用教材:新表現と鑑賞 開隆堂出版

	指導内容 【年間授業計画】	科目の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
1 月	(8) 表現5 鑑賞6 映像メディア CMを作ろう	(8) の自分製品をもとに班で共同制作して、 タブレットPCを使って、映像表現を理解し、 制作する。	(8) ① 関心・意 欲・態度 発想・構想 の能力 取り組み ワークシー ト アイデアス ケッチ	4.5
2 月			②③ 発想・構想 の能力 創造的な技 能 アイデアス ケッチ 作品	6
3 月	④鑑賞会 (9) 鑑賞7 1年間のまとめ	共同で制作した作品を鑑賞し、伝えたいこ とを伝える表現方法の多様性に気づく。 (9) 1年間のまとめ 1年間の制作を振り返り、2年生の制作に活 かせるように準備する。	④鑑賞の能 力 ワークシー ト (9) 関 心・意欲・ 態度 鑑賞の能力 取り組み ワークシー ト 定期考査	4.5